

絵本周辺領域の動向——絵本原画展 2007

執筆者：竹迫 祐子

掲載誌：「BOOKEND」 絵本学会 2008年

現在、日本で継続的に行われている絵本原画展には、「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展（略称・ボローニャ展）」、隔年ごとに開催される「ブラティスラヴァ世界絵本原画展（略称・B I B展）」や「野間国際絵本原画コンクール入賞作品展」があります。日本での展覧会は、これら絵本原画コンクールと連動しています。

「ボローニャ展」は、「子どもの本の分野で最も大きな、そして最も重要な国際コンクールです。1967年に始まって以来、41年のあいだ毎年欠かさず開催されています。」そして、2007年の展覧会に関しては、「約60カ国から全部で2600以上のイラストレーターが応募し、国際審査団によって85組のイラストレーターの入選が決まりました」とその図録に解説されています。（『BOLOGNA ANNUAL2007』）日本でのボローニャ展は1980年にスタートし、すでに30年近い歴史を持ち、本国でのボローニャ展の大きな支えともなっています。毎年、一年間で全国4～5会場を巡回、2007年は板橋区立美術館をはじめ、西宮大谷記念美術館、高浜市やきもの里かわら美術館、石川県七尾美術館で開催されました。

一方、B I B展は、同じく1967年から、スロヴァキアの首都ブラティスラヴァではじまったものです。誕生の背景には、当時の西欧とロシア、東欧諸国の緊張関係、冷戦状態があったといえます。国の利害やイデオロギーの違いを越えて、子どもの本の交流を行ない、東西の相互理解を深めようという願いが込められた開催でした。日本での展覧会はボローニャ展に遅れること20年、2000年からスタートし、2006—07年には、足利市美術館、平塚市美術館、静岡アートギャラリー、広島県立美術館、三鷹美術ギャラリー、小杉放菴記念日光美術館、北九州市立美術館・分館、うらわ美術館の8館で開催されました。

野間国際絵本原画コンクールは、「優れた才能を持ちながらも作品発表の機会に恵まれないアジア（日本は除く）、太平洋、中南米、アフリカの各地域とアラブ諸国の新進イラストレーターやグラフィックデザイナー、画家を発掘し、作品発表の場を提供し、創作活動を奨励することを目的として、1978年から隔年で」開催されてきたもので、2002年の第13回からは、「ゆめいろパレット」と銘打って、国際子ども図書館を中心に「野間国際絵本原画コンクール入賞作品展 アジア・アフリカ・ラテンアメリカ」が開催されてきました。（2008年度で終了）

日本でのボローニャ展やB I B展を見ると、その開催会場に、各地の県立美術館や市立美術館が増えてきていることは近年の特徴です。

複数の美術館が協同で調査、研究、図録の作成等を分担して展覧会に取り組む動きは旧来よりありましたが、絵本原画展でも、昨今では、経済的な問題やマンパワーの問題から、大規模な展覧会を協同開催する動きは年々増えてきています。

2007年だけでも、ボローニャ展、B I B展のほかに、「激しく創った!!田島征彦と田島征三の半世紀」（高知県立美術館／新潟市新津美術館）、「美術館に行こう！～ディック・ブルーナに学ぶモダン・

アートの楽しみ方〜」(札幌芸術の森美術館／北網圏北見文化センター／松坂屋美術館／宇都宮美術館／長崎県美術館／福井市美術館／高知県立美術館／ビッフェ美術館)、「チェコ絵本とアニメーションの世界」(美術館「えき」KYOTO)／北海道立帯広美術館／目黒区立美術館／刈谷市美術館)、「絵で読む 宮沢賢治展 賢治と絵本原画の世界」(萬鉄五郎記念美術館／平塚市立美術館／下関市立美術館／静岡アートギャラリー／新潟市新津美術館／天童市美術館)、「イリヤ・カバコフ「世界図鑑」—絵本と原画—」(神奈川県立近代美術館・葉山／広島市現代美術館／世田谷美術館)等々がありました。

「絵で読む 宮沢賢治展 賢治と絵本原画の世界」は、第一部「宮沢賢治」という現象〜宮沢賢治の生涯〜と、第二部すきとほったほんとうのたべもの〜賢治童話の挿絵の世界〜という二部構成です。遺族や宮沢賢治記念館、宮沢賢治イーハトーブ館等の協力を得て、自筆の絵や原稿を含めた100点に上る遺品で、その人と人生を紹介する前半部分。赤羽末吉、茂田井武、いわさきちひろ、和田誠、司修、荒井良二といった62名の画家による250余点の原画が、それぞれの画家たちの賢治解釈を伝える後半部分。その双方が溶け合って、幅と奥行きのある新しい宮沢賢治展を創り出し、文学と美術、それぞれの独自性と連関を考えるに、示唆に富んだ展覧会と言えます。

一方、「トコトン! 神沢利子展〜いのちの水があふれだす〜」も、文学者の美術展。東京都下、三鷹市の呼びかけで2006年の春にスタートした「神沢利子展プロジェクト」は、完全な市民活動として展開され、小学生から80代まで、作家自身を含め総勢200名以上が参加しました。勉強会とイベントを繰り返し、07年3月のプレ展示「どうして? 神沢利子展」を経て、12月の本展開催にこぎつけました。展示コーディネーターとして関わった絵本研究家、広松由希子氏は、「貴重な絵本原画から深読み解釈、神沢ワールドを一望するジオラマ、子ども目線のしかけまで、読者の「好き」という気持ちにトコトン支えられた展示は、驚きとよるこびに満ちている」と、取り組みの様を語っています(月刊MOE2008年一月号)。受容者主体による絵本原画展。展覧会までのプロセスを想像すると、気が遠くなりそうなくらい大変なものがありますが、反面、そこで浮き彫りになる視点は、作家にとっても新しいエネルギーの源たり得る可能性を秘めています。

ニューヨークを拠点に、国際的な活動を展開してきた前衛作家イリヤ・カバコフが、旧ソビエト時代の1950年代から30年間に渡って描いた100冊の絵本と1000点の絵本原画が紹介された「イリヤ・カバコフ「世界図鑑」—絵本と原画—」展は、「生活」「科学と産業」「イデオロギー教育」「物語」「詩」の5つのカテゴリーで構成されています。この時代、共産主義体制のもとで、厳しい規制のあった大人のものに比べると比較的規制が緩やかであった子どもの本は、画家たちにとっては、魅力的な舞台でした。かのタチヤーナ・マーブリナも、この時代、同様に子どもの本の仕事を主とし、ロシア民話やプーシキンの物語の絵を好んで描いています。柴田こずえ氏は同展について、「『旧ソ連の絵本の挿絵』自体が得意な分野なのに加え、それがのちのイリヤ・カバコフのインスタレーション作品とどう繋がっているかはやはり興味深い」と語っています(月刊「MOE」2007年11月号)。カバコフが、この時代の抗いようのない規制や抑圧をどのように受け止め、何を描き、その経験が後の自由で独創的な作品に繋がっていくのか、確かに興味深いものがあります。

2007年の絵本原画展を振り返ると、イリヤ・カバコフをはじめ、「猪熊弦一郎展『いのくまさん』」、「モーやん えっちゃん ええほんのえ 元永定正+中辻悦子 絵本原画展」、絵本『ジャリおじさん』の原画も出展された「大竹伸朗展」(広島市現代美術館)、「ヤン・シュヴァンクマイエル展」(安曇野絵本館)、「ブルーノ・ムナーリ展 あの手この手」(板橋区立美術館／滋賀県立近代美術館／刈谷市美術館)等々、現代美術作家や映像作家、グラフィックデザイナーらの絵本原画展、もしくは絵本原画の

出展が特徴的に見られました。さまざまな表現ジャンルからの絵本表現へのアプローチとも言える現象は、今後、さらに発展し絵本表現そのものを刺激することが望まれます。

例えば、「ブルーノ・ムナーリ展」は、絵画、彫刻、映像、プロダクト・デザイン、グラフィック・デザイン、美術教育の実践、アーティスト・ブック、絵本等々、多ジャンルにまたがって活躍したムナーリについて、「その魅力はいったいどこから来ているのか。そして、ムナーリというアーティストが何をしようとしていたのか、それぞれをジャンル別にとらえるのではなく、その全貌に迫ってみたい」と本展の意図を、担当学芸員の松岡希代子氏は記しています（同展覧会図録）。300点を優に越える本とスケッチが集められました。

ひとりの作家を掘り下げるには、何より、作家の作品や本に負うところが大きいことは言うまでもありません。07年11月からちひろ美術館・東京で開催した「初山滋大回顧展」は、大正から昭和にかけて50年の長きにわたって活躍した初山滋の人と作品の全貌を紹介する展覧会でした。遺族のもとに残された600余点の作品、出版社に保管されてきた100点を越える原画等々の調査。網羅的な出版物リストの作成等々を経て構成された本展は、絵本と絵雑誌のための水彩画、漫画や線描、版画等々、初公開の作品も含め、1920年代から晩年まで180点の作品と50点を越す遺品・資料を展示し、その人と作品を紹介したものです。繊細で美しい作品世界の根幹に、あの狂気のような戦争の時代にあっても、国策に協力する絵を描かなかったこの画家の感性は、今の時代に多くを考えさせます。とはいえ、初山研究もようやくその途についたばかりで、さらに継続的な調査が必要です。

こうした地道な調査・研究をまとめ、公開するという側面、また図録や関連書籍として記録を後世に残すという機能も、絵本原画展は持っています。

■2007年絵本原画の展覧会・絵本画家の展覧会

2006.7.15-1.28	今野もんじろう刊行記念「夕日の丘のなかま展」	いわむらかずお絵本の丘美術館
2006.11.30-2.25	市居みか 絵本原画展	射水市大島絵本館
2006.12.1-1.30	武井武雄 村山知義ーハイカラ・モダンな童画展ー	イルフ童画館
2006.12.1-2.13	佐野洋子 絵本原画展	平田本陣美術館
2006.12.6-1.28	絵本・自然・子ども…いわむらかずおの世界	武蔵野市吉祥寺美術館
2006.12.20-1.29	北欧からのおくりものー子どもの本のあゆみ	国際子ども図書館
1.1-4.15	かとうまふみ『たまごのおうさま』絵本原画展	ピンポイントギャラリー
1.3-2.25	たからものコレクション連続公開絵本原画展Ⅳ期 欧米の絵本たち	木城えほんの郷
1.4-2.12	ワイワイワールドえほん展～世界の絵本原画展	田川市美術館
1.6-1.31	太田大八展覧会	トムズボックス
1.6-3.11	もーやん えっちゃん ええほんのえ 元永定正+中辻悦子 絵本原画展	伊丹市立美術館
1.10-1.28	猪熊弦一郎展『いのくまさん』	丸亀市猪熊弦一郎現在美術館
1.20-3.11	世界の絵本がやってきたーブラティスラヴァ世界絵本原画展 特別展示チャペック・ラダ・トゥルンカ チェコの絵本の黄金時代	三鷹市美術ギャラリー
1.23-4.8	激しく創った!!ー田島征彦と田島征三の半世紀展	新潟市新津美術館
2.14-2.21	黒井健絵本原画展～ぬくもり～	大泉町文化むら展示ホール
2.2-2.28	唐仁原教久展「ラッパじいさんと山羊の旅」	トムズボックス
2.10-4.8	チェコ絵本とアニメーションの世界 チャペック、トゥルンカから21世紀の作家まで	目黒区美術館
2.23-4.24	宮沢賢治 絵本原画展	絵本美術館森のおうち
3.1-3.31	「春のポーズ」1005ORANGE個展	トムズボックス
3.1-5.6	開館30周年記念展Ⅰ ちひろのあゆみ展	ちひろ美術館・東京
3.1-5.8	ユーリー・ノルシュテインの絵本作り展／同時開催 10のテーマ100のちひろ	安曇野ちひろ美術館
3.1-5.27	絵本づくりと美術館活動の10年「絵本の丘の絵本展」前期	いわむらかずお絵本の丘美術館
3.1-7.2	中欧の絵本・原画展 =伝統の絵本芸術から生まれた幻想世界=	軽井沢絵本の森美術館
3.1-7.16	開館10周年記念 ディック・ブルーナからのおくりもの	えほんミュージアム清里
3.3-4.8	宮西達也と武田美穂絵本原画展	木城えほんの郷
3.3-5.26	伊藤正道 『僕への小さな旅』原画展	giogio factory
3.3-7.2	こみねゆら絵本原画展	安曇野絵本館
3.5-3.13	丸木俊「ロシアのわらべ歌」原画展	ギャラリーセンティニアル
3.15-4.13	美術館に行こう! ～ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方～	福井市美術館
3.16-3.28	ぞうのエルマー アートコレクション	浪井バルコパート1 ロゴスギャラリー
3.16-5.17	絵本になった原画 《Masako & Tasaburo絵本原画展》	えほん村
3.17-3.31	神沢利子展プロジェクト キックオフ企画 「どうして? 神沢利子展～ウーフからの招待状～」	三鷹市芸術文化センター
3.17-4.8	『はらべこあおむし』30周年記念 エリック・カールの世界	教文館ウェインライトホール
3.17-7.17	美術館に行こう! ～ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方～	ビュフェ美術館
3.21-4.8	旭山動物園の物語「あべ浩士の世界展」～動物たちがまちにやってきた～	大丸ミュージアム・東京
3.24-5.14	おいしくつくって たのしくたべよう! さとうわきこ絵本原画展	小さな絵本美術館
3.31-	清水良雄絵本展	
4. -5.	黒井健絵本原画展ー「ウララちゃんのたんじょうび」「HOTEL」「LONG NIGHT」	黒井健絵本ハウス
4.1-4.30	nakaban展	トムズボックス
4.4-4.16	日本絵本の世界展～その誕生から現在日本の作家まで～	大丸ミュージアム・梅田
4.5-6.28	大友康夫新所蔵原画展 くまくんとくまくんの絵本	黒姫童話館・童話の森ギャラリー
4.7-5.27	絵本作家ワンダーランド	秋田県立近代美術館
4.10-4.28	大島妙子+工藤ノリコ「二人会」2007	ブックギャラリーポポダム
4.13-6.26	猫のダヤンの展覧会ー池田あきこの世界	イルフ童画館
4.14-5.27	絵本の系譜Ⅱ 世界の絵本がやってきたーブラティスラヴァ世界絵本原画展	小杉放菴記念日光美術館
4.20-5.20	原画がいっぱい! 日本絵本の世界展ーその誕生から現代人気作家までー/同時開催 特別企画「描かれた桃太郎」	岡山県立美術館
4.21-5.27	荒井良二 スキマの国の美術館	新潟市新津美術館
4.21-5.27	チェコ絵本とアニメーションの世界 チャペック、トゥルンカから21世紀の作家まで	刈谷市美術館
4.21-6.3	絵本原画のかがやき現代日本の8人の絵本作家たち展	木城えほんの郷
4.24-4.29	4月のノマドたち	GALERIE Malle
4.26-5.16	堀内誠一 絵本原画 ぐるんばもーananも	銀座教文館
4.26-5.27	ゲオルグ・ハンスレーベンとアン・グットマンの世界 リサとガスパール&ベネロペ展	美術館「えき」KYOTO
5.1-5.30	スズキコージのお加草子展	トムズボックス
5.3-7.30	茂田井武 没後50年展	大阪府立国際児童文学館
5.6-7.1	開館30周年記念展Ⅱ ちひろとアジアの絵本画家たち	ちひろ美術館・東京
5.19-7.16	あめなんて へっちゃらさ! さとうわきこ絵本原画展	小さな絵本美術館
5.19-7.16	こんなおはなし よんでみよう! 世界の昔ばなし絵本展	八ヶ岳小さな絵本美術館
5.31-10.21	太田大八 原画展 『絵本西遊記』『天人女房』	祈りの丘絵本美術館
5.31-9.2	絵本づくりと美術館活動の10年「絵本の丘の絵本展」後期	いわむらかずお絵本の丘美術館
6. -7.	黒井健絵本原画展ー「おかあさんの目」「およげラッコぼうや」「月夜のバス」	黒井健絵本ハウス
6.12-6.25	荒井良二新作絵本『たいようオルガン』原画展	青山ブックセンター本店内・ギャラリー
6.2-7.16	チェコ絵本アニメーションの世界 チャペック、トゥルンカから21世紀の作家まで	新潟市新津美術館
6.2-7.8	世界の絵本がやってきたーブラティスラヴァ世界絵本原画展 特別展示チャペック・ラダ・トゥルンカ チェコの絵本の黄金時代	北九州市立美術館
6.29-8.28	いせひでこ 絵本原画展	絵本美術館&コテージ 森のおうち
6.4-7.1	ムサビと絵本ー絵本の表現	武蔵野美術大学美術資料図書館

7.1-7.31	荒井良二の小さな展覧会『たいようオルガン』	トムズボックス
7.1-8.29	松谷みよ子平和絵本原画展『ミサコの被爆ミアノ』と『まちゃんと』	黒姫童話館・童話の森ギャラリー
7.4-9.2	開館30周年記念展Ⅲ 世界中のこどもみんなに平和としあわせを／同時開催 『ここが家だー ベン・シャーン』の第五福竜丸』展・再現！「ベトナムの子供を支援する会」反戦野外展	ちひろ美術館・東京
7.4-9.24	酒井駒子 絵本原画展 PART2	安曇野絵本館
7.5-10.1	姿を与えられた伝承物語 民話えほん展	軽井沢絵本の森美術館
7.6-8.19	第22回現代絵本作家原画展「のぞいてみよう！ もう一つの世界～擬人奇想天外～」	東広島市立美術館
7.13-9.11	開館10周年記念展Ⅲ ちひろの絵のひみつ	安曇野ちひろ美術館
7.14-8.19	2007イタリア・ポロニア国際絵本原画展 特別展ヴォルフ・エアルブルッフ	板橋区立美術館
7.14-9.2	世界の絵本がやってきたーブラティスラヴァ世界絵本原画展 特別展示チャベック・ラダ・トウ ルンカ チェコの絵本の黄金時代	うらわ美術館
7.14-9.2	夏休みは自然の中へ松岡達英絵本原画展	木城えほんの郷
7.14-9.9	絵で読む 宮沢賢治展 賢治と絵本原画の世界	萬鉄五郎記念美術館
7.14-9.24	ともだちってなんだろう？ 中川ひろたかと「ともだち」展	鎌倉文学館
7.18-7.29	ゲオルグ・ハンスレーベンとアン・グットマンの世界 リサとガスパール&ベネロペ展	名古屋栄三越
7.18-7.30	サン＝テグジュペリの星の王子さま展	大丸ミュージアムKOBE
7.18-9.17	開館10周年記念 所蔵原画展	えほんミュージアム清里
7.20-9.2	大島妙子の絵本原画展	かごしま近代文学館メルヘン館
7.21-10.1	父から子への贈りものーフェリックス・ホフマン展	八ヶ岳小さな絵本美術館
7.21-8.28	親と子で見る絵本原画展ー宮城県立美術館コレクションからー	山梨県立美術館
7.21-8.26	スズキコージズキンの大魔法画展	浜松市美術館
7.21-9.17	やまわきゆりこ展	小さな絵本美術館
7.21-9.2	飯野和好 痛快絵本の世界展	相生森林美術館
7.21-9.24	絵本の国からこんには オランダ絵本作家展～オランダ絵本の2大巨匠 マックス・ベルジャ イスとディック・ブルーナから現代作家まで	ハウステンボス美術館
8. -9.	黒井健絵本原画展ー「SWEET TIMRS」「ころわんと おにんぎょう」「ころわんと がががが」	黒井健絵本ハウス
8.1-8.31	どいかや 木の中の動物展	トムズボックス
8.8-8.20	サン＝テグジュペリの星の王子さま展	大丸ミュージアムSAPPORO
8.15-8.27	ありがとうチョーさん！ 長新太展ナノヨ	大丸ミュージアムKYOTO
8.25-9.30	2007イタリア・ポロニア国際絵本原画展 特別展ヴォルフ・エアルブルッフ	西宮市大谷記念美術館
8.27-9.25	ちひろとアジアの絵本画家たち	福岡アジア美術館
8.29-9.17	まるごと！ 宮西達也～絵本原画の森4	電気文化会館(財団法人ちゅうでん) 絵本美術館&コテージ 森のおうち
8.31-10.3	小林敏也 絵本原画展	トムズボックス
9.1-9.30	メグホソキ展	佐野美術館
9.1-10.1	スズキコージズキンの大魔法画展	新潟市新津美術館
9.5-10.21	五味太郎作品展「絵本の時間」	ちひろ美術館・東京
9.5-11.18	開館30周年記念展Ⅳ ようこそ！ちひろの家へ	いわむらかずお絵本の丘美術館
9.6-11.25	開館10周年記念 ふたりの子ども展 西巻茅子／いわむらかずお絵本原画展	イルフ童画館
9.7-11.6	チェコ絵本の現在	そごう美術館
9.8-10.8	こどもごころとナンセンス ありがとうチョーさん！ 長新太展ナノヨ	木城えほんの郷
9.15-10.14	もみじの山におべんともって 片山健の世界展	神奈川県立近代美術館葉山
9.15-11.11	イリヤ・カバコフ「世界図鑑」ー絵本と原画ー	絵本の樹美術館
9.15-11.25	秋山あゆ子 絵本原画展『くものすおやぶんとりものちよう』	平塚市美術館
9.15-11.4	絵で読む 宮沢賢治展 賢治と絵本原画の世界	パリ第六区区役所
9.17-10.10	いせひでこ絵本原画展「絆ーLinesー in Paris	小さな絵本美術館
9.21-11.5	西村繁男 絵本原画展	ふくやま美術館
9.22-11.11	ぐりとぐらとなかまたち 山脇百合子絵本原画展	国際子ども図書館
9.22-2008.1.13	ゆめいろのバレットⅢ 野間国際絵本原画展コンクール入賞作品 アジア・アフリカ・ラテンア メリカから	PIGA画廊2
9.26-10.1	南塚直子 新作絵本「やまぼうし村のビッキ」原画展	安曇野絵本館
9.26-12.3	ヤン・シュヴァンクマイエル展ーアリスー	えほんミュージアム清里
9.27-2008.1.14	『ピロードのうさぎ』刊行記念 酒井駒子絵本原画展	兵庫県立円山川公苑美術館
9.29-11.14	オランダ絵本作家展	黒井健絵本ハウス
10. -11.	黒井健絵本原画展ー「THE MISSIMIPPI」「つきよの よるのものがたり」	トムズボックス
10.1-10.31	井上洋介展	大丸ミュージアム・梅田
10.3-1.15	デビュー45周年記念 ジョン・バーニンガム絵本原画展	黒姫童話館・童話の森ギャラリー
10.3-11.30	桜井誠の描く童話の世界「トム・ソーヤ」と「ハックル・ベリーフィン」	長崎県美術館
10.5-11.25	美術館に行こう！ ～ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方～	八ヶ岳小さな絵本美術館
10.5-12.2	たるおしまこ 絵本原画展	高浜市やきもの里かわら美術館
10.6-11.4	2007イタリア・ポロニア国際絵本原画展 特別展ヴォルフ・エアルブルッフ	giogio factory
10.8-12.29	伊藤正道 『マフィーくん』と『ジョージくん』原画展	玉村町文化センター
10.10-10.21	広野多可子 絵本原画展	美術館「えき」KYOTO
10.13-11.11	いわさきちひろ展 未来につなぐ、やさしさのきずな	そごう大宮店特設会場
10.18-10.24	ゲオルグ・ハンスレーベンとアン・グットマンの世界 リサとガスパール&ベネロペ展	福生市中央図書館
10.20-10.28	村上康成 絵本原画展	木城えほんの郷
10.20-11.18	現代の百鬼夜行を描く 井上洋介の世界展	地球環境パートナーシッププラザ
10.27-11.10	A. ラマチャンドランの世界 絵本原画展	広島市現代美術館
9.15-11.25	大竹伸朗ー路上のニュー宇宙	トムズボックス
11.2-11.30	本秀廉展 union illustration exhibition	石川県七尾美術館
11.9-12.9	2007イタリア・ポロニア国際絵本原画展 特別展ヴォルフ・エアルブルッフ	

11.9-2008.1.14	絵で読む 宮沢賢治展 賢治と絵本原画の世界	下関市立美術館
11.10-12.10	『ふゆのはなし』クライドルフ 『そりあそび』さとうわきこ他 冬の絵本原画展	小さな絵本美術館
11.21-1.31	生誕110年記念 初山滋大回顧展 色彩と線の詩人がおりなすモダニズムの世界／同時開催 ちひろの構図ー色・線・形ー	ちひろ美術館・東京
11.22-2008.1.30	オランダ絵本作家展	北海道立帯広美術館
11.26-12.1	飯野和好 モジャモジャペーター	ピンポイントギャラリー
11.29-12.23	ハンガリー絵本原画展ーレイク・カーロイを訪ねてー	Gallery OUT of PLACE
12.1-12.31	長新太展	トムズボックス
12.1-2008.1.14	生誕100年記念 ブルーノ・ムナーリ展 あの手この手	板橋区立美術館
12.1-2008.4.13	渡辺禎男 型染版画の世界&東欧幻想絵本原画展	フィリア美術館
12.4-12.25	荒井良二展「つづきの国のぼくの地図」	Gallery Vie
12.5-12.26	クリスマスに贈る心温まる絵本の世界 黒井健 絵本原画展	美術館「えき」KYOTO
12.8-2008.1.13	トコトン！神沢利子展～いのちの水があふれだす～	三鷹市美術館ギャラリー
12.8-2008.1.27	イリヤ・カバコフ「世界図鑑」ー絵本と原画ー	広島市現代美術館
12.10-12.24	スズキコージのかさぶたってどんなぶた 絵本原画展	coffee & gallery 糸いじう
12.26-2008.1.16	荒井良二・あべ浩士 宮沢賢治絵本原画展 『オッペルと象』『なめとこ山の熊』	青山ブックセンター本店ギャラリー
-2008.1.27	「いのりへのまなざしー『原爆の図』と丸木俊・スマの世界」展	新潟市新津美術館
-2008.1.20	葉祥明 HEART & ART展	周南市美術博物館

(編集協力:朝北社出版部)